

令和6年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
		評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
小学部 【学校目標】 2) 学習指導の充実 【下位組織レベル】 ① 「自分の気持ちを表出する」をめざし、学習指導の充実を図る。	① 全児童の授業中のエピソードの記録から、表出の増減や変容を3場面以上確認する。		(評定)		
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	①-1 主に自立活動の時間に関する指導について、担任する児童の外部専門家等によるコンサルテーションや指導を受けたり協議をしたりする。				
	①-2 専門家との協議により実態把握や指導の視点を見直し、児童の学習場面でのエピソードを記録し、児童にとって楽しく心身共に心地よい授業を模索する。				
	①-3 児童の学習場面でのエピソードについて、保護者や病棟スタッフと共有する。				
①-4 全児童の表出のエピソードを、年に3回以上学部内で共有・記録する。					

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
		評価指標の達成度	総合評価		
中 学 部	【学校目標】 2) 学習指導の充実	評価指標 ① 個別の指導計画において、2・3学期の「自立活動」の目標で「十分達した」「達した」という評価が80%以上となる。		(評定)	
		活動計画 ①-1 中学部全生徒について、目標等を検討するケース会を実施する。		(所見)	
	①-2 中学部全生徒について、学部教員間で自立活動の指導事例検討や教材共有等を行う。				
	①-3 ひのみね医療療育センターリハビリテーション課との連絡会、社会人講師来校等による専門家との連携で得られた情報の共有を図り、授業に活かす。				

自己評価				学校関係者評価	年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
		評価指標の達成度	総合評価		
高 等 部	2) 学習指導の充実	評価指標 ① 学部内アンケートにおいて、「進路意識が向上した・実践力が高まった」と回答した教員が80%以上となる。		(評定)	
		活動計画 ①-1 校内実習期間や報告会など、学部全体で取り組む機会を年2回以上設定する。		(所見)	
	①-2 月1回、学習グループ内で支援方法の見直しを行い、授業改善を図る。				
	①-3 就業体験ごとに毎回振り返りを実施する。				
【下位組織レベル】 ① キャリア意識の向上とともに実践力を高め、進路指導の充実を図る。	①-4 学期に1回以上、進路に関する情報交換会を学部内で実施する。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見		
総務課	【学校目標】 1) 安心・安全な学校づくり	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
		① 防災意識を高め、防災計画に基づいた訓練や研修を、関係機関や家庭と連携して計画し、計画通り実施する。		(評定)		
	【下位組織レベル】 ① 災害時における安全な避難態勢の整備を行う。	活動計画	活動計画の実施状況			(所見)
		①-1 「災害安全」に関する訓練を5回、「生活安全」に関する訓練を1回計画し、10月までに実施する。				
		①-2 年度当初に、全教員対象に本校の防災に関するWEB研修を計画し、全教員が研修できるようにする。				
		①-3 スロープが使用できないときの2階への避難について、全教員が体験できる形で計画する。				
①-4 保護者と連携し、保護者の希望を取り入れて、夏季休業中にPTA防災研修として計画、実施する。						
①-5 他課と連携し、カードの書式を検討して立案し、次年度からの活用ができるようにする。						
①-6 避難訓練に関する避難経路など、5月から防災計画や危機管理マニュアルから抜粋して掲示板に掲載し、周知する。						

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見		
教務課	【学校目標】 2) 学習指導の充実	評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
		① 各学部の準ずる教育課程(1.2コース)の「評価に関する規定」を来年度改定できるように見直し、作成する。		(評定)		
	【下位組織レベル】 ① 学習指導要領に即した学習評価を推進する。	活動計画	活動計画の実施状況			(所見)
		①-1 各学部の教務主任を中心に、参考資料等を集め、原案を作成する。				
		①-2 教務課全員で、それぞれの原案を検討し、改訂版を作成する。				
		①-3 教育課程検討委員会、個別の指導計画検討委員会に改定案を出し、承認を得る。				
①-4 承認された改訂版を職員会議等で周知する。						

自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
研究課 【学校目標】 5) 教職員の専門性の維持向上と地域への発信 【下位組織レベル】 ① 自立活動実践シートのPDCAサイクルに基づきながら、外部専門家の活用とチームで取り組む自立活動の指導を推進することを通して、教職員の専門性を高める。	評価指標 ① 自立活動の目標設定の手続きを理解することができた、概ね理解できたと100%以上の教員が回答する。	評価指標の達成度 (評定)		
	② 自立活動ミニ授業検討会や外部専門家の活用を通して、話し合ったことを授業に活用し授業を改善することができたと80%の教員が回答する。	(所見)		
	活動計画 ①-1 自立活動の目標設定の手続きについて掲示板等を活用した研修を実施する。	活動計画の実施状況		
	①-2 目標設定のポイントを伝えながら全児童生徒の自立活動実践シートを再検討する研修を実施する。			
	①-3 2・3学期の個別の指導計画ケース会において目標設定の根拠を説明する機会を設ける。			
	②-1 自立活動ミニ授業検討会の進め方を示し、全教員が自主的に取り組めるよう研修を支援する。			
	②-2 ひのみね医療療育センターリハビリテーション課との連絡会を1学期と3学期に企画し、社会人講師の来校指導を60回以上実施する。			

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
人権 進路 課	【学校目標】 1) 安心・安全な学校づくり	評価指標 ① 自分を大切にする活動を年間5回以上企画する。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	【下位組織レベル】 ① 人権教育の視点を学校全体で確認し、一人ひとりを大切にする教育活動を展開する。	活動計画 ①-1 人権研修、薬物乱用防止教室やスマホ安全教室など自分を守る学びの場を提供する。	活動計画の実施状況	(所見)	
		①-2 いじめ防止子ども委員会に児童生徒全員が所属していることを教員が知り、児童生徒が挨拶運動や校内放送に積極的に参加できるように呼びかけ等を行う。			
		①-3 スクールカウンセラーと連携し、自分や周りの人を大切にするヒント等を発信する。			
	【学校目標】 4) 家庭・地域・学校が一体で取り組む教育の推進	評価指標 ① 児童生徒、保護者のニーズに応じた進路選択に向けて、関係機関との連携、情報提供等を年間通して行う。	評価指標の達成度	総合評価 (評定)	
	【下位組織レベル】 ① 生徒に応じた進路選択へつなげていく。	活動計画 ①-1 進路アンケートを実施し、保護者のニーズに合った施設見学を行ったり、進路情報を人権進路通信「はなみずき」で発信をする。	活動計画の実施状況	(所見)	
①-2 進路指導担当が高等部生徒保護者との面談の機会を年間2回以上持つ。					
①-3 小学部段階から進路について、保護者や担任にも考えてもらうことができるような情報発信をしたり、進路先の開拓等を行う。					

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
特別活動課	【学校目標】 4) 家庭・地域・学校一体で取り組む教育の推進	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		① 地域や県主催のイベント等への参加及び企画を3つ以上実施する。		(評定)	
	活動計画	活動計画の実施状況	(所見)		
	【下位組織レベル】 ① 児童生徒の実体験の機会を増やす。	①-1 作品展や演奏会などを精選して企画し、本校児童生徒の実態に即した参加方法を検討する。			
	①-2 参加を呼びかけ、意見を集約し、参加の仕方や日程等の調整をする。				
	①-3 参加及び企画するイベントの案内や取り組み内容、活動結果等をホームページにて発信する。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見	
支援課	【学校目標】 1) 教職員の専門性の維持向上と地域への発信	評価指標	評価指標の達成度	総合評価	
		① PBSの基本的な考えについて情報提供を行い、各学部毎の取組事例を周知する。		(評定)	
	② 巡回相談時の支援において、PBSの理念に基づいた相談活動を訪問箇所80%以上の保育園や幼稚園、小学校、中学校等で実施する。		(所見)		
	活動計画	活動計画の実施状況			
	【下位組織レベル】 ① 校内外において、PBS(ポジティブ行動支援)を広げる取組を行う。	①-1 校内掲示板等を活用し、PBSについての情報や取組事例を提供する。			
	①-2 PBSに関する相談や質問等について話をする機会を持つ。				
	②-1 総合教育センターからの案内、リーフレット等を活用する。				
	②-2 相談内容に応じてPBSの視点からの支援について助言を行う。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策	
重点目標	評価指標と活動計画	評価		学校関係者の意見		
		評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
保 健 環 境 課	【学校目標】 4) 家庭・地域・学校一体で 取り組む教育の推進 【下位組織レベル】	① 校内での節水節電、紙の再利用、ペットボトルキャップ回収等の啓発活動を定期的に行い、さらなる推進を図る。		(評定)		
		② ユネスコ委員会を中心に各学部とも連携し、学校全体でエシカル消費教育や啓発活動に取り組む。		(所見)		
	① 家庭・地域・学校一体でエシカルアクション事業に取り組み、さらなる推進を図る。	活動計画	活動計画の実施状況			
		①-1 電気や水、紙の使用量について記録し、グラフ化して校内掲示板に掲示する。				
		①-2 毎月、30日をエシカルの日とし、電気、水、紙の使用量と共に昨年度比も周知し、節電節水、紙の再利用などについて呼びかける。				
		①-3 学期に1回参観日にペットボトルキャップ回収日を設定し、家庭と連携して回収活動に取り組むと共に、ユネスコ委員会を中心に、エシカル消費啓発のチラシ配布や呼びかけを行う。				
		②-1 高等部を中心にエシカル消費教育、環境教育を授業に取り入れる。				
		②-2 啓発活動のポスターやチラシづくり、回収活動に協力してくれた方に渡す感謝のカードやプレゼントを作る。				
		②-3 啓発活動では事前に打ち合わせを行うと共に、事前に児童生徒がポスターを作成し、掲示してもらう。				
		②-4 地域での啓発活動を行い、事前学習や事後学習を行う。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
情報課	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
			評価指標の達成度	総合評価	
情報課	【学校目標】 3) GIGAスクール構想の更なる展開	評価指標 ① ICT機器の活用に向け、ニーズに応じた研修を2回行い、実践の様子を発信する。		(評定)	
		② ICTやATを活用した教材等のソリューションを提供する。		(所見)	
	【下位組織レベル】	活動計画	活動計画の実施状況		
	① ICT機器への理解を深め、児童生徒一人一人の実態に応じた活用をする。	①-1 GIGAサポーター等の制度を活用して研修を行い、ICT機器への理解を深める。			
		①-2 学校ホームページを活用し、各学習グループでの取り組みを各学期1回以上発信する。			
		②-1 ICT・AT活用を通じた支援のあり方について研修（OJTを含む）を実施する。			
②-2 効果的な授業内容・展開ができるようにスイッチ等の活用例やアプリケーションについて紹介をする。					